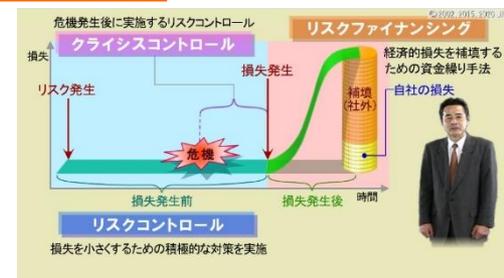


リスクマネジメントコース

リスクへの感性を高め、基本的な処理手法を身につけます。

リスクとは何かを理解し、日常のマネジメントにおいて準備・実施すべきことを考える、初級管理者から部門長クラス、および経営管理部門等の担当者に向けたコースです。リスク事例から教訓を学び、リスクの発見・分析・処理・改善法など、リスクマネジメントの手法と実行について習得します。要所に自分の職場のリスクを洗い出し、対処法を考えるしくみも設け、実践に即したリスクマネジメント力を養成します。



<コースカリキュラム>

1 リスクとは何か	1-1 リスク事例(1) 1-2 リスク事例(2) 1-3 リスク事例からの教訓 1-4 リスクとは 1-5 リスクの構成要素
2 リスクマネジメントの手法と実行	2-1 リスクマネジメントとは 2-2 リスク発見(1) 2-3 リスクのリストアップ(シート作成) 2-4 リスク発見(2) 2-5 損失発生の流れ(シート作成) 2-6 リスクの分析 2-7 リスクの分析(シート作成) 2-8 リスクの処理手法(概要) 2-9 リスクの処理手法(詳細) 2-10 リスク処理手法を考える(シート作成) 2-11 最適手法の選択 2-12 リスクコストの調査(シート作成) 2-13 対策の実行 2-14 クライシスコントロール(シート作成) 2-15 評価・分析と改善 2-16 結びの言葉 2-17 本コースのまとめ

<本コースのねらい>

- 企業活動におけるリスクにはどのようなものがあるか整理し、理解します。
- リスクの仕組みと考え方を理解することで、日常のマネジメントにおけるリスクへの感性を高めます。
- リスク発見のポイントとその処理手法を理解します。
- 企業活動における多くのリスクの学習を通じて、自社の置かれている環境やそれに対する体制を見直すことができるようになります。
- 日常のマネジメントから発生する多くの事例を扱うことにより、リスクに対する受講者の主体意識が高まります。
- 学習内容をシートにまとめながら考えることで、学習と同時に実際の職場におけるリスクの洗い出しをすることができます。
- 講師からの語り掛けと分かりやすい解説によって、高度なリスクマネジメント理論も無理なく理解することができます。

<概要>

受講対象者	初級管理者(新任・既任)～部門長、支店長・経営企画室等企業の全般部門の担当者
監修	● 浦嶋繁樹 日本アルマック 代表取締役 NPO法人 日本リスクマネジャー&コンサルタント協会 専務理事
仕様	● 想定学習時間：6時間 ● 最短実行時間：43分 ● テスト数：2 (第1回：全35問、第2回：全26問)